

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

## 《国内初!》フグの仲間「パオ・アベイ」の繁殖に成功 2月9日(フグの日)より展示します

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2018年2月9日(金)より、国内の生きものを飼育展示する施設でニフレルが初めて繁殖に成功したフグの仲間「パオ・アベイ」の赤ちゃん(約2cm、20匹予定)を、館内1階「わぎにふれる」ゾーンにて展示します。



今回展示する「パオ・アベイ」の赤ちゃん(全長約2cm)

「パオ・アベイ」は、メコン川流域を中心に東南アジアの河川に生息する、一生を真水で暮らすフグです。成長しても全長10cm程度と比較的小型で、体に丸いオレンジ色の斑点が多数あるのが特徴です。飼育例が少なく、国内で飼育展示しているのは、ニフレルと山口県下関市の市立しものせき水族館「海響館」だけです。

ニフレルでは、2017年3月からバックヤードで飼育しており、9月25日に初めて産卵を確認、その後10月19日までに合計4回の産卵で約280匹の赤ちゃんが生まれました。

また、オスが胸ビレを使って卵に新鮮な水を送り続けたり、卵にゴミなどが付着しないように守る“わぎ”も確認しました。

今回展示するのは、10月19日に産卵、27日に孵化した赤ちゃんたち20匹(予定)です。胸ビレをパタパタと動かして“ちょこまか”と愛らしく泳ぐ様子を、2月9日の“フグの日”をきっかけとしてご覧頂くことにいたしました。

ニフレルでは、同じくフグの仲間、2016年3月に国内で初めて「パオ・スバツィー」、5月に世界初となる「テトラオドン・ショウテデニ」の繁殖に成功しており、今後も謎の多い生物の生態解明や生物多様性の保全、種の保存に貢献していきたいと考えています。



卵を守るオスの様子

お問い合わせ：NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

## 【「パオ・アベイ」の赤ちゃん展示概要】

《展示開始日》2018年2月9日(金) 開館時より展示。終了日未定。

《展示場所》館内1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》約20匹(予定)

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。

## 【生きているミュージアム『NIFREL』 施設概要】



名称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運営会社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所在地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営業時間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休館日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施設内容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入館料金	大人(16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児(3歳以上)600円
交通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐車場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構造規模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建築面積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延床面積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ
- ※ ツイッター
- ※ Facebook
- ※ インスタグラム

<http://www.nifrel.jp>  
[http://twitter.com/nifrel\\_official](http://twitter.com/nifrel_official)  
<http://www.facebook.com/nifrel.jp>  
[http://www.instagram.com/NIFREL\\_OFFICIAL](http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL)